

琴丘土地改良区

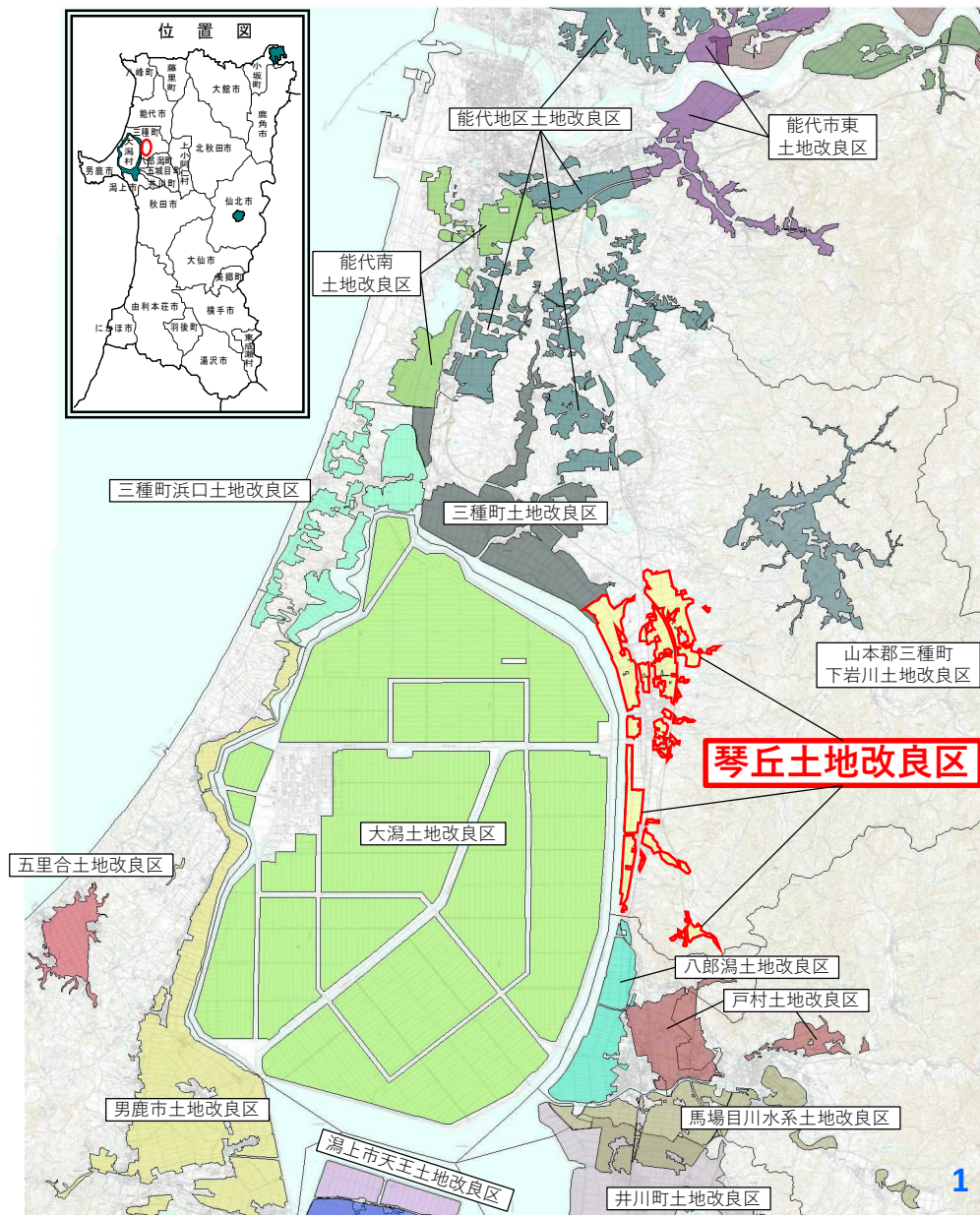
受益面積 731ha

地域の概要

- 三種町の南部、八郎潟干拓の東部承水路東岸側を受益地としており、受益地を東から西へ横断するように3つの二級河川（糸流川、鹿渡川、鯉川川）が流れている。
- 地区の最下流部である八郎潟東部承水路に隣接する受益地は、八郎潟干拓事業により造成された周辺干拓地であり、標高は東部承水路より低い。



羽根川ダム



【内 容】

■ 合併の歴史

■ 工区の構成

■ 鹿渡北部・地先干拓（北側）工区

- ・（鹿渡北部工区の施設）水源施設 羽根川ダム
- ・（鹿渡北部工区の施設）送水施設
- ・（鹿渡北部工区の施設）ため池
- ・（鹿渡北部工区の施設）用水施設
- ・（地先干拓（北側）工区の施設）用排水施設

■ 琴丘南・地先干拓（中央）工区

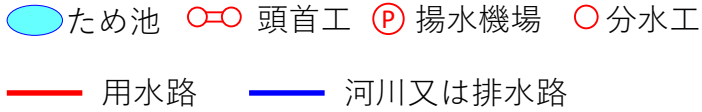
- ・（琴丘南工区の施設）地域の用水施設
- ・（地先干拓（中央）工区の施設）用排水施設

■ 鯉川・市野・地先干拓(南側)工区

- ・（鯉川工区の施設）送水施設
- ・（地先干拓（南側）工区の施設）用排水施設
- ・（市野工区の施設）ため池

■ 施設の維持保全

■ ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県山本地域振興局農村整備課
協 力	・ 琴丘土地改良区 ・ 三種町 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和 7 年 3 月
基本凡例	 ※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのとおりの表記となっていない場合がある
出 典	・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。 これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。 本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予め了承ください。

合併の歴史

地改良区の合併・統合

S.33～ 琴丘町羽根川	琴丘町鹿渡	H.17～ 琴丘土地改良区
	S.43～ 琴丘町地先干拓	

土地改良の歴史

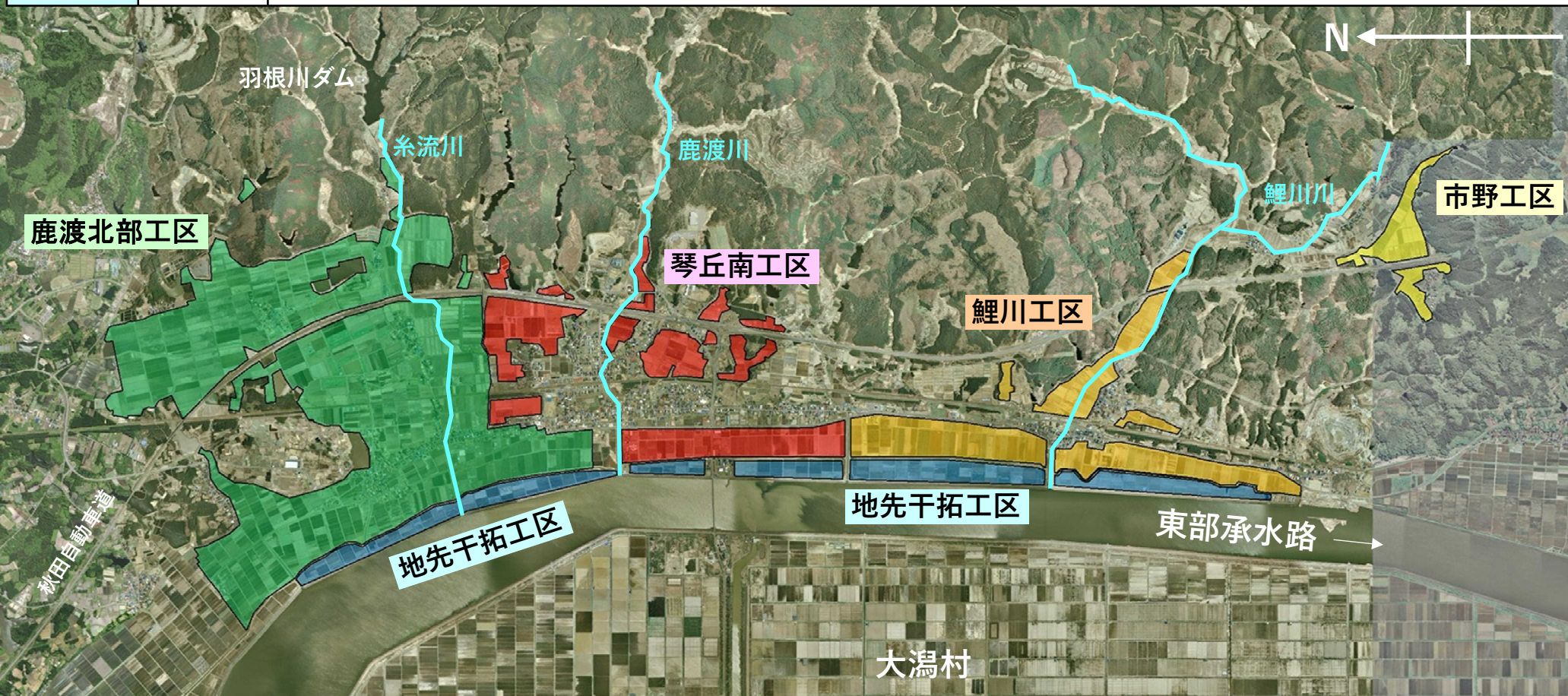
昭和	27. 9. 3	山本郡琴丘町羽根川土地改良区の予備審査を国塚仁五郎外 2 0 名で申請する。
	32.10.12	山本郡琴丘町羽根川土地改良区設立認可申請書を提出する。
	33. 3.27	秋田県指令耕地改良区第 4 0 8 号をもって山本郡琴丘町羽根川土地改良区の設立認可。
	43. 6.19	琴丘町南部地先増反土地改良事業共同施行と琴丘町北部地先増反土地改良事業共同施行の合併認可を、見上一郎外 1 5 名をもって申請する。
	43. 9. 9	秋田県指令耕 1 6 5 0 号をもって琴丘町地先干拓土地改良区の設立認可。
	43.10.23	東北農政局八郎潟干拓事務所長出口勝美と琴丘町地先干拓土地改良区理事長牧野忠彦との間で、秋田県知事小畑勇二郎、琴丘町長山崎良造の立会により、北部排水機場財産管理受託契約を締結。
	45. 3. 9	事務所火災により焼失。これより以前の両土地改良区に関する詳細は不明となる。
平成	17. 3. 7	山本郡琴丘町鹿渡土地改良区と琴丘町地先干拓土地改良区の新設合併認可を、琴丘土地改良区設立委員長田中長外 7 名で申請。
	17. 4. 1	指令山農 6 号をもって琴丘土地改良区の設立認可。
	19. 3.30	県営ほ場整備事業(高度利用型)地先干拓地区採択。
	20. 3.31	県営ため池等整備事業ヒダケ地区完了。
	21. 3.31	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業羽根川 1 期地区採択。
	21. 3.31	県営ほ場整備事業鯉川地区、団体営新農業水利システム保全対策事業羽根川地区完了。
	21. 8.27	団体営農地有効利用支援整備事業鹿渡北部地区・琴丘南地区・金仏地区・市野地区採択。
	22. 3.31	県営ほ場整備事業糸流川地区完了。
	22. 3.31	団体営農地有効利用支援整備事業鹿渡北部地区・琴丘南地区・金仏地区・市野地区完了。
	23. 2. 3	団体営土地改良施設維持管理適正化事業地先干拓第 6 ・ 7 排水機場採択。
	23. 3.31	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業羽根川 1 期地区完了。
	23. 5.16	県営戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業水田排水総強化型琴丘地区採択。

	23. 6. 1	団体営戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業小規模施設強化型琴丘地区採択。
	24. 1.11	団体営土地改良施設維持管理適正化事業地先干拓第 6 ・ 7 排水機場完了。
	24. 2.28	団体営農業体質強化基盤整備促進事業小規模施設強化型鹿渡地区、暗渠排水・区画拡大琴丘地区採択。
	24. 3. 5	団体営戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業小規模施設強化型琴丘地区完了。
	24. 5. 8	県営ため池等整備事業ジョゴモリ地区採択。
	25. 1.16	団体営農業体質強化基盤整備促進事業琴丘地区採択。
	25. 3. 8	県営農業水利施設長寿命化対策支援事業（基幹施設強化型）琴丘北部・寺後地区採択。
	25. 3.25	団体営農業体質強化基盤整備促進事業小規模施設強化型鹿渡地区、暗渠排水・区画拡大琴丘地区完了。
	25. 7.24	団体営農業基盤整備促進事業琴丘5地区採択。
	26. 3.25	団体営農業体質強化基盤整備促進事業琴丘地区完了。
	26. 3.25	団体営農業基盤整備促進事業琴丘5地区完了。
	26. 3.31	県営農業水利施設長寿命化対策支援事業（基幹施設強化型）琴丘北部・寺後地区完了。
	26. 2. 6	団体営農業基盤整備促進事業琴丘6地区採択。
	27. 3.20	団体営農業基盤整備促進事業琴丘6地区完了。
	27. 3.31	県営ほ場整備事業（高度利用型）地先干拓地区完了。
	27. 4.10	県営ため池等整備事業大台野堤地区採択。
	27. 7. 1	団体営農地耕作条件改善事業琴丘北地区採択。
	30. 1.29	県営ため池等整備事業長信田堤地区採択。
	30. 2.21	湛水防除事業琴丘北地区採択。
	31. 3. 8	湛水防除事業琴丘南地区採択。
	31. 3.29	県営ため池等整備事業ジョゴモリ地区完了。
令和	2. 3.31	県営ため池等整備事業大台野堤地区完了。
	5. 3.31	ため池緊急防災環境整備事業 羽根川ダムに水位計設置。
	6. 3.31	県営ため池等整備事業長信田堤地区完了。
		湛水防除事業琴丘北地区完了。

工区の構成

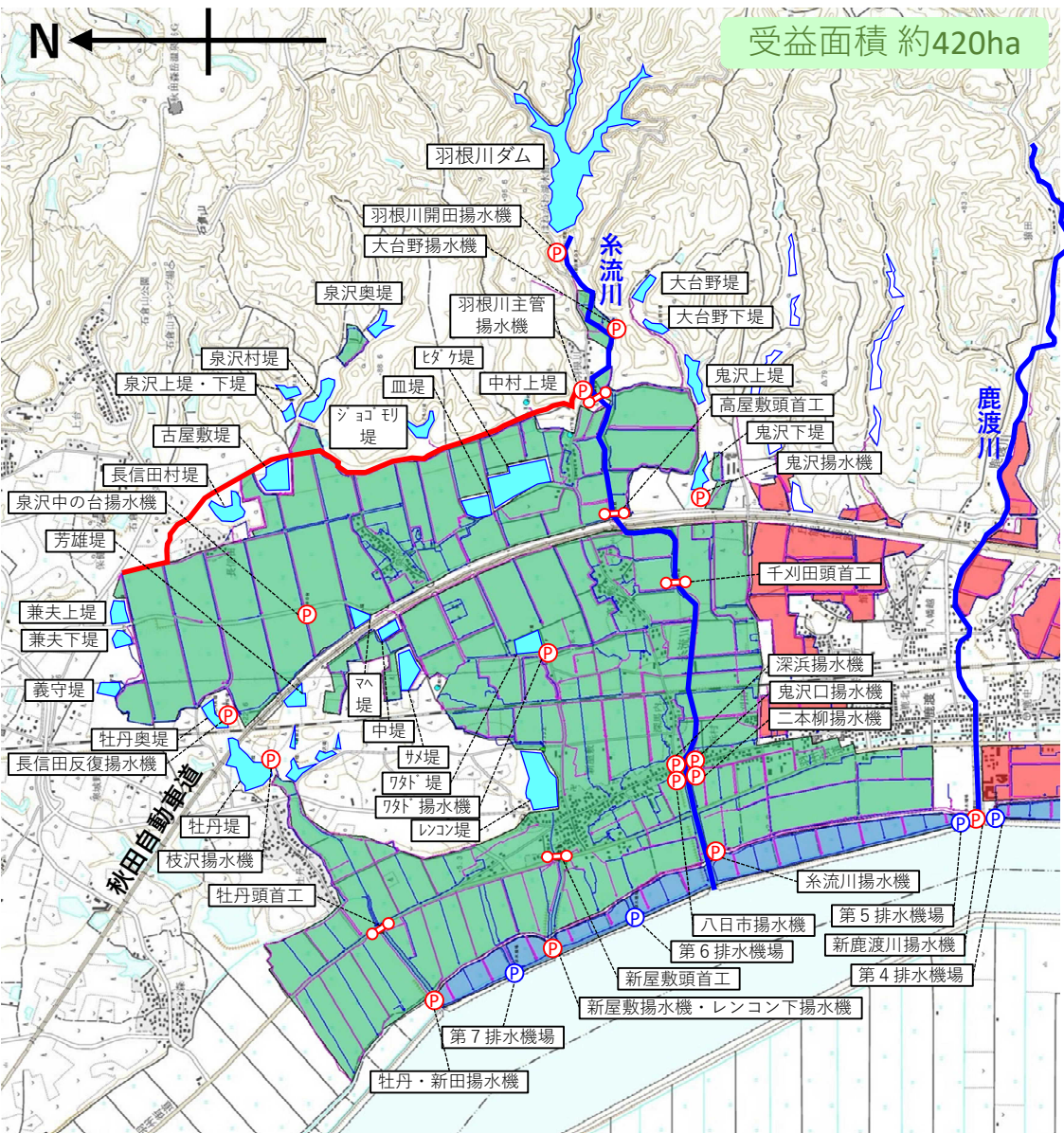
受益地は八郎潟干拓の東部承水路の東岸側（左岸側）に広がる 5 工区より構成

工 区 名	受益面積	概 要
鹿渡北部	約420 ha	受益の北端であり山側は羽根川ダムを主要水源とし、承水路側は揚水機場を取水源とする。
琴丘南	約110 ha	受益の中央部に位置しており、地区に点在するため池を主要水源とし、承水路側は地先干拓地区の承水路を取水源とする。
鯉川	約100 ha	受益の南部に位置しており、東部承水路からの揚水を取水源とする。
市野	約30 ha	受益の南端に位置し、点在する 5 つのため池を主要水源としている。
地先干拓	約80 ha	国営八郎潟干拓事業による干拓造成地。標高が承水路より低いため、承水路と同水頭の水路より取水し排水機場により排水。



鹿渡北部・地先干拓（北側）工区 糸流川（羽根川ダム）を主要水源に、開水路により送水。

- 地区を東西に横断する糸流川から揚水機及び頭首工により取水。
- 山間部及び受益北部は点在する複数のため池から取水。



施設	堤高	堤長	有効貯水量
羽根川ダム	17.7m	139m	855千m3
大台野堤	6.9m	99m	14千m3
大台野下堤	3.0m	72m	6千m3
鬼沢上堤	5.0m	50m	20千m3
鬼沢下堤	8.0m	57m	32千m3
中村上堤	3.0m	34m	3千m3
ヒダケ堤	4.9m	138m	80千m3
血堤	4.0m	160m	35千m3
ジョゴモリ堤	6.5m	70m	62千m3
泉沢奥堤	8.0m	59m	24千m3
泉沢村堤	11.4m	133m	144千m3
堤沢上堤	5.0m	60m	24千m3
堤沢下堤	3.0m	50m	6千m3
古屋敷堤	2.5m	330m	40千m3
長信田村堤	3.5m	214m	26千m3
兼夫上堤	2.0m	100m	13千m3
兼夫下堤	2.0m	110m	11千m3
義守堤	2.0m	80m	3千m3
牡丹奥堤	2.5m	60m	20千m3
牡丹堤	4.0m	240m	65千m3
芳雄堤	1.5m	120m	12千m3
新田上堤	3.0m	50m	3千m3
枝沢堤	1.5m	60m	2千m3
新田下堤	3.0m	45m	9千m3
マヘ堤	2.5m	200m	16千m3
中堤	2.0m	250m	10千m3
サメ堤	3.0m	140m	21千m3
ワタド堤	3.0m	169m	22千m3
レンコン堤	4.0m	153m	75千m3

- 築造：昭和34（1959）年～昭和43（1968）年、事業主体：秋田県、事業費：258,500千円
- 形式：アースダム（均一型）、堤高：17.7m、堤頂長：138m、堤体積：74,806m³
- 有効貯水量：855,420m³、取水施設構造：斜樋、取水能力：0.7m³/s
- 満水面積：0.144km²、流域面積：1.7km²

全景



堤体正面



堤体（左岸側より）



貯水池



石碑は語る

竣工記念碑

憶うに農民の歴史は水との斗いであつた。本地域も用水は東側丘陵より流出する数条の小河川と数多く点在する小皿溜池のみで他は大自然の恵みを仰ぐより灌漑の方法がなかった。渇水期においては旱魃に泣き増水期には水害を憂う。この状態を幾百年も続けて参つた。このとき大自然の災害を人間の力によって克服すべく昭和32年県営灌漑排水事業としてこの地に堤高17.7米 堤長138米 有効貯水量85万5千立方メートルの土堰堤の築造に着手することに決定いたしましたのである。

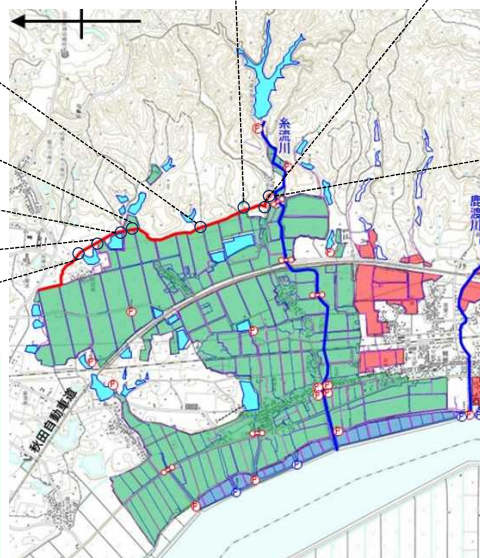
しかしこの間幾多の議論が百出し事業は困難をきわめ遂には一時中止の声等もあつたが理事長及び全役員よく団結協力して諸般の難事に対処し本日の完成を見た次第である。

往時を偲び一文を草し後世の礎とする。

昭和41年6月22日

山本郡琴丘町鹿渡土地改良区





羽根川主管揚水機





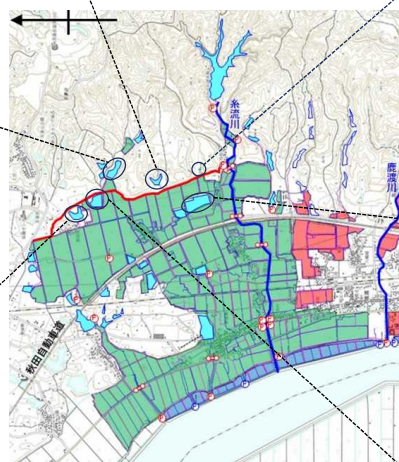
泉沢村堤



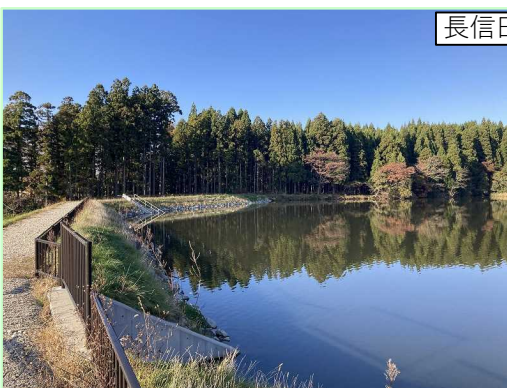
ジョコ利堤



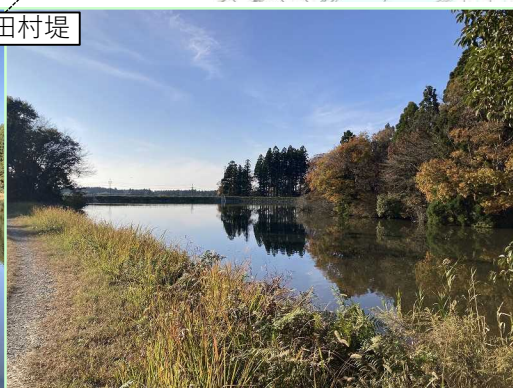
中村上堤



ヒダケ堤



長信田村堤



古屋敷堤

鹿渡北部工区

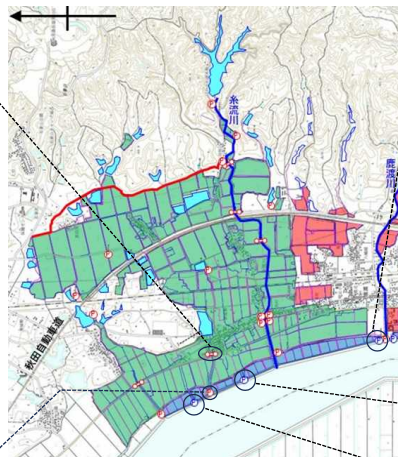
(用水施設)



新屋敷頭首工



レンコン下・新屋敷揚水機



地先干拓（北側）工区

(用排水施設)



第5排水機場



第6排水機場

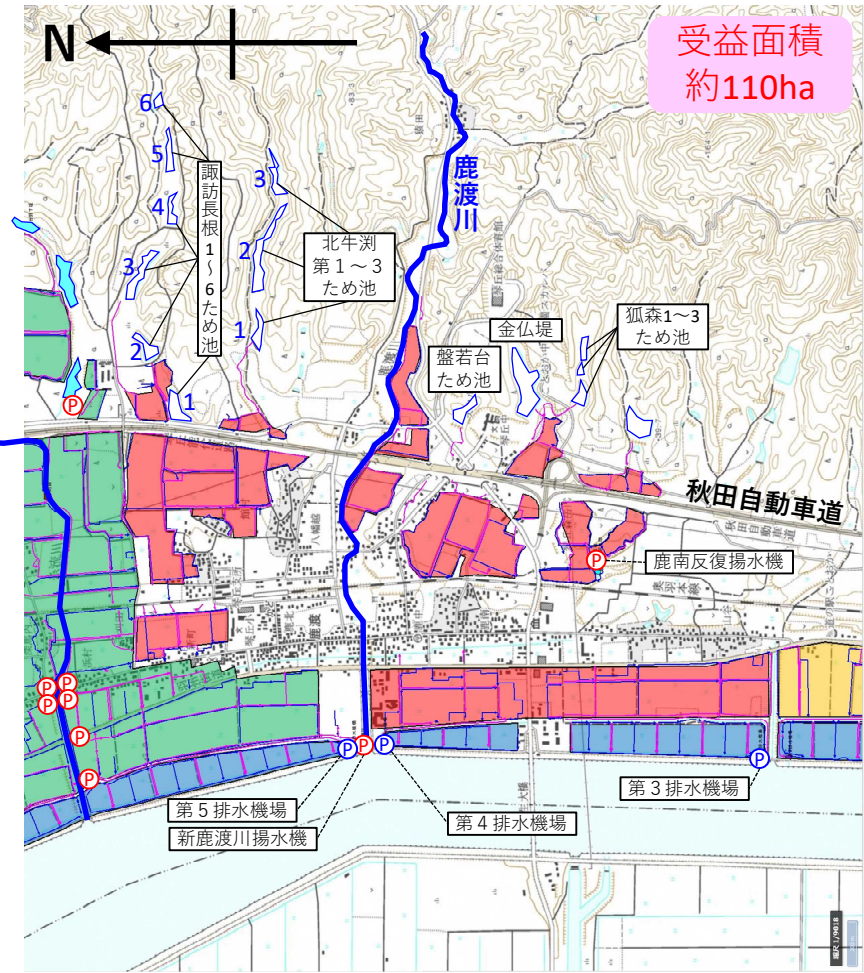


第7排水機場



琴丘南・地先干拓（中央）工区 点在するため池から取水し、開水路により送水。

- 受益地東部に位置するため池（群）から取水し、開水路を通じて用水供給している。
- 東部承水路側は地先干拓地区の承水路より取水している。



河川	施設	堤高	堤長	有効貯水量
	諏訪長根 1 ため池	4.5m	75m	7千m3
	諏訪長根 2 ため池	3.2m	102m	40千m3
	諏訪長根 3 ため池	6.0m	66m	23千m3
	諏訪長根 4 ため池	5.0m	60m	9千m3
	諏訪長根 5 ため池	5.0m	44m	9千m3
	諏訪長根 6 ため池	4.5m	30m	7千m3
	北牛淵 第 1 ため池	4.5m	70m	13千m3
	北牛淵 第 2 ため池	7.0m	60m	46千m3
	北牛淵 第 3 ため池	5.0m	60m	14千m3
	盤若台 1 ため池	1.1m	41m	3千m3
	盤若台 2 ため池	3.0m	75m	13千m3
	金仏堤	10.6m	92m	116千m3
	狐森 1 ため池	6.8m	60m	13千m3
	狐森 2 ため池	3.1m	37m	4千m3
	狐森 3 ため池	4.6m	20m	7千m3



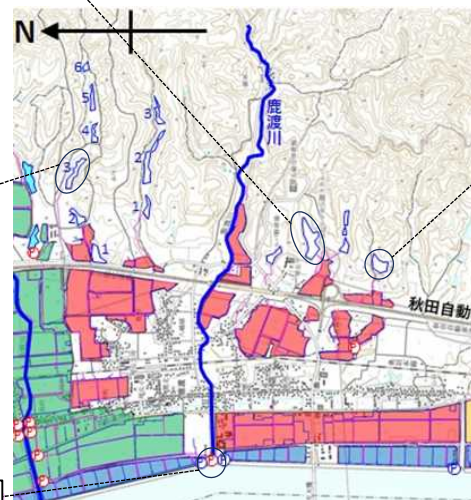
金仏堤



名称不明ため池



諏訪長根3ため池



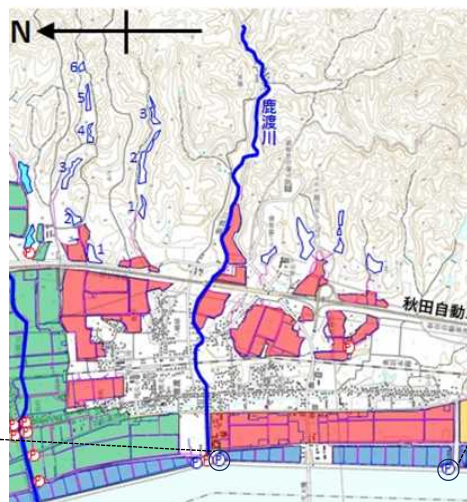
新鹿渡川揚水機



地先干拓（中央）工区（用排水施設）



第 4 排水機場

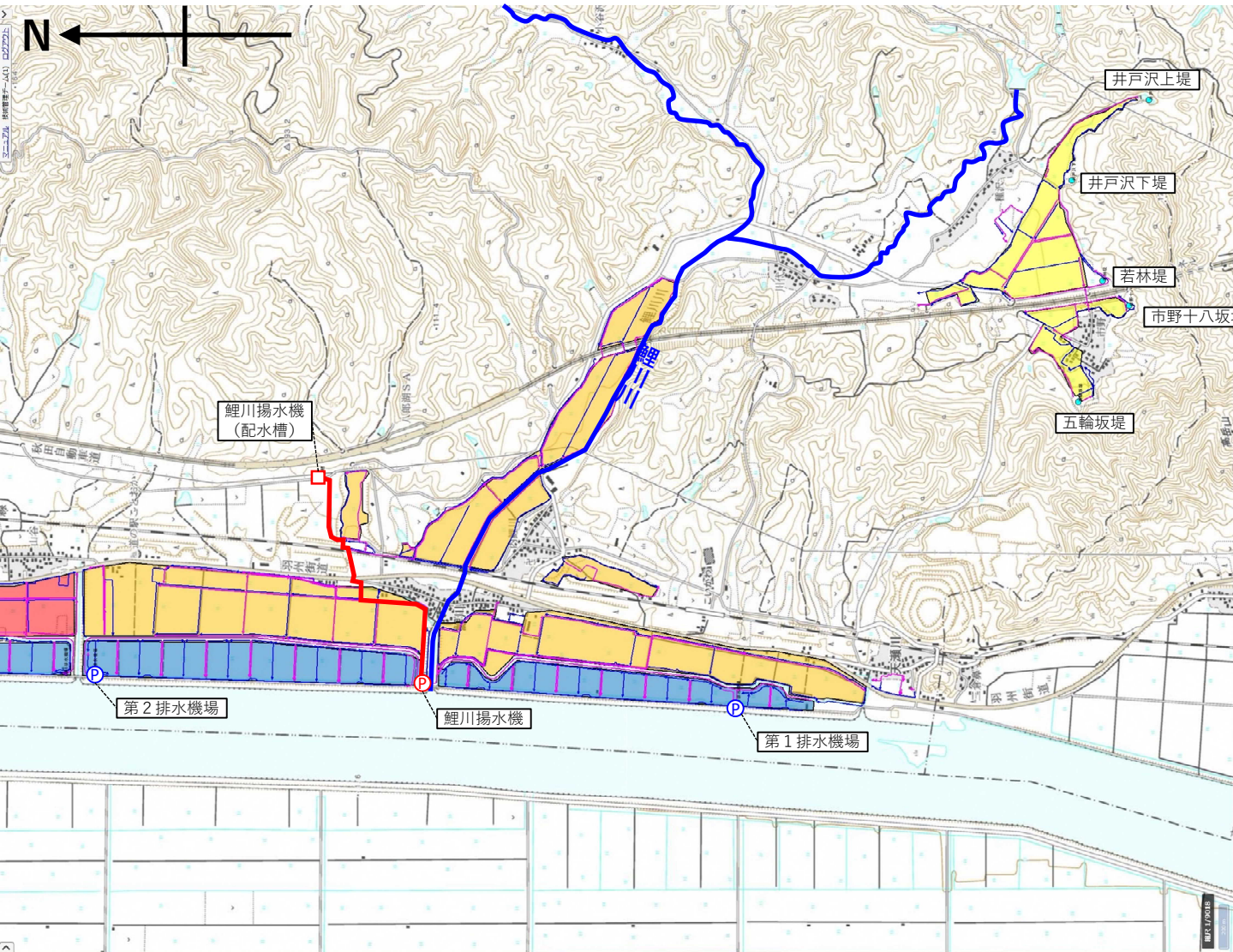


第 3 排水機場



鯉川・市野・地先干拓（南側）工区 鯉川揚水機と点在するため池などから取水し、開水路にて取水

- （鯉川） 鯉川揚水機により東部承水路から配水槽へ揚水し、主要水源としている。
- （市野） 点在する5つのため池から取水している。



受益面積 約30ha

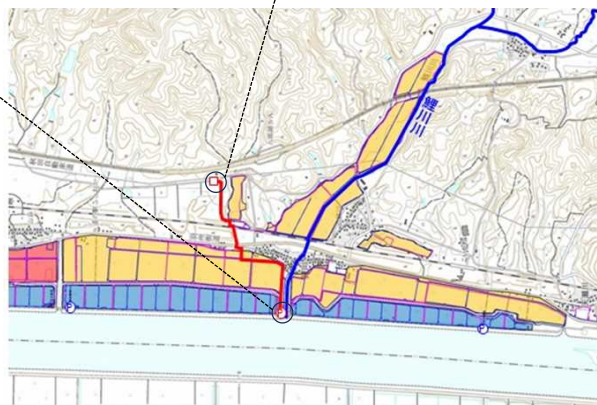
施設	堤高	堤長	有効貯水量
井戸沢上堤	5.0m	64m	20千m3
井戸沢下堤	4.8m	44m	4千m3
若林堤	2.0m	50m	5千m3
市野十八坂堤	2.5m	60m	7千m3
五輪坂堤	4.0m	34m	3千m3



鯉川揚水機 吐水槽



鯉川揚水機 吐水槽



石碑は語る

県営鯉川地区担い手育成基盤整備事業 竣工記念碑

八郎潟残存湖を眼前に望むこの地に、県営鯉川地区担い手育成基盤整備事業の竣工を記念し、この碑を建立する。

事業前の圃場は区画五～一〇a、農道は狭く用排水は土水路で圃場が分散し機械作業効率も悪く、営農に多大な支障をきたしていた。

この解決のため、一刻も早く近代農業に対応した基盤整備が必要との機運が高まり、受益農家の賛同を得、平成十一年度事業着工となった。

本事業により圃場の大区画化と農地の集積、農道・用排水路・暗渠排水等の一体的整備が行われたほか、用水の安定供給のため、地区内水源を鯉川川下流に統一した新鯉川揚水機場が新設され、効率性の高い農業基盤の整備が実現したのである。

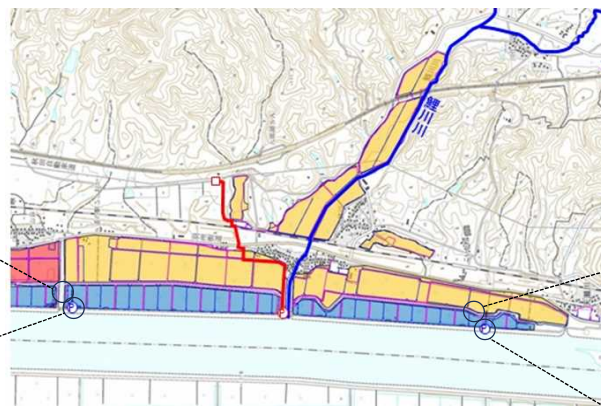
事業計画から完了までの十一年間、幾多の難問題、悪条件を克服した多くの人々の尽力と功績をたたえと共に、本事業が地域農業発展に資することを強く願うものである。

平成十九年十一月建立



地先干拓（南側）工区（用排水施設）

承水路連結水路



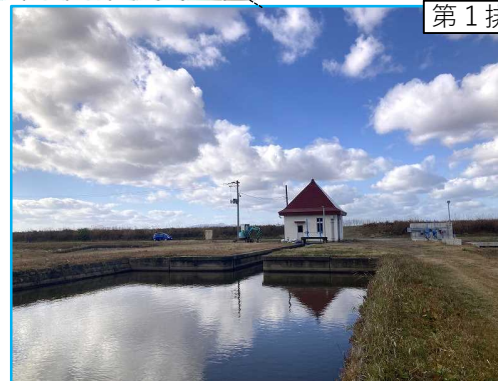
干拓地用水路



第2排水機場



第1排水機場





若林堤



井戸沢下堤

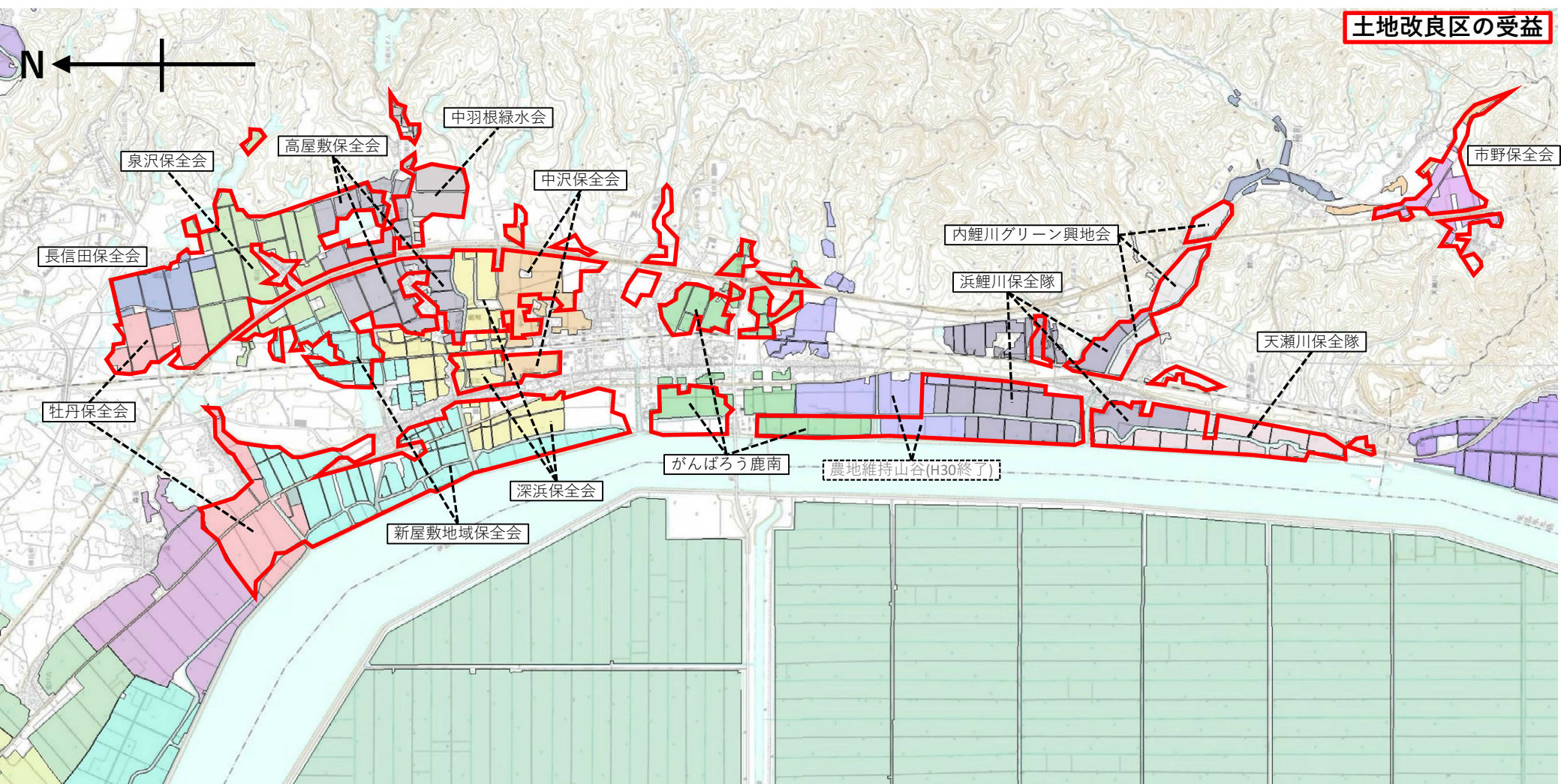
五輪坂堤

市野十八坂堤

井戸沢上堤



■ 土地改良区受益地の大半が「新屋敷地域保全会」によりカバーされている。



■ 昭和60年度の鹿渡北部地区から始まり、受益地内においては大部分ではほ場整備が実施されてきた。

